

高松市生涯学習センター 生涯学習推進事業 [企業等との連携事業 (まなび CAN・CSR 教室)]

「やさしい生命保険の話」を開催しました



平成22年6月19日、NPO法人日本ファイナンシャルプランナーズ協会香川支部との共催事業による講座「やさしい生命保険の話」を開催しました。

前半は、三木孝一さんが「生命保険活用法～家計とリスク～」というテーマで話をしてくださいました。「普段は気づいていない家計に潜むリスク」には、主人の死亡リスク、家族の生活資金、子どもの養育資金、家族の入院時の備え、家族が介護状態になった時の介護資金、長生きをした時の生活資金などがあるようです。三木さんは、それぞれのリスクに備えるための具体策を分かりやすく話してくれました。

後半は、岩佐淳子さんが「保障額の決め方のポイント」というテーマでお話してくださいました。まず、現在加入している保険の目的を思い出してみましょ！ 現在の家計の状況を見つめ直してみましょ！ 貯蓄と保険のバランスを考えて再検討をしてみましょ！ということでした。また、必要保障額の考え方として、次のような式があるようです。『必要保障額＝万一の場合に必要な金額－公的保障で準備できる金額（遺族年金，障害年金，老齢年金，健康保険の給付，介護保険の給付など）－企業保障で準備できる金額（死亡一時金，死亡退職金，傷病手当金など）－貯蓄・収入』

いずれにせよ、保障がいつまで必要か？保障額はいくら必要か？同じような保険に入っていないか？など、それぞれの目的にあった保険を選ぶことが大切だということでした。また、最近は保険選びについて、プランナーやアドバイザーに相談する人も増えたようです。



受講生のみなさんは、自分が現在加入している保険の内容を思い出しながら、真剣にメモをとって聞いていました。